

家族日誌 (1962)

CRONACA FAMILIARE
FAMILY DIARY

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 アメリカ／イタリア

色彩 Color

時間 114分

初公開日 1964/07/28

公開情報 ヘラルド

【解説】

髪に白い物も混じり始めたエンリコは故郷フィレンツェからの折り返しの電話をローマの局で待っていた。そして聞く、弟ロレンツォの死。予想のついていたことだったが、自分たちの複雑な生い立ちを思い返すと熱いものがこみ上げてくる。故郷を描いた絵に見入りながら、彼は弟を追慕する……。この出だしから実に切々と、弟と自分、二人きりの心の日記をひもとく感じが巧く表現されているズルリーニ監督の力作。母が死んで、父は第一次大戦の負傷者として入院生活を送っていたため、ロレンツォは近隣の英国貴族の館の執事をする養父に預けられた。母の死の原因は弟の出産だと知った少年エンリコは、祖母と家を訪ねることもやめて、彼とは疎遠になった。しかし間もなく、養父と女友達のこと喧嘩をしたロレンツォが彼を頼って家出してくる。十数年の空白を埋めようともどかしい思いをするエンリコ。養父には既に生活能力もなく、植字工の貧しい生活ながらエンリコは弟を引き取った。エンリコは記者になる宿願を果たすが、肺病で療養生活を余儀なくされる。ロレンツォは職を転々とし、連絡も途絶えがちだった。三年後に再会したときも、恋人を連れていながら、兄を頼りきった様子にエンリコは腹を立てる。弟はその後、不治の病にかかり、故郷での死を望む。そして、それを看取る勇気はエンリコにはなかった。マストロヤンニ、ペランとも繊細な好演で、色調を抑えたロトゥンノのカメラ（ビデオだと明るく見えすぎるのが難）も見事だった。

【クレジット】

監督	ヴァレリオ・ズルリーニ	Valerio Zurlini
製作	ゴッフリード・ロンバルド	Goffredo Lombardo
原作	ヴァスコ・プラトリーニ	Vasco Pratolini
脚本	ヴァレリオ・ズルリーニ	Valerio Zurlini
撮影	ジュゼッペ・ロトゥンノ	Giuseppe Rotunno
音楽	ゴッフレード・ペトラッシ	
出演	マルチェロ・マストロヤンニ	Marcello Mastroianni
	ジャック・ペラン	Jacques Perrin
	サルヴォ・ランドーネ	Salvo Randone
	シルヴィー	Sylvie